

公益社団法人 日本地下水学会

2024年度 第4回 理事会議事録

1. 開催日時：2024年8月31日（土） 13:30～17:00

2. 開催場所：Web会議

3. 理事総数：14人

4. 出席理事数：13人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	遠藤 崇浩	○	理事	久保田 富次郎	○
理事	阪田 義隆	○	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	○	理事	辻村 真貴	○
理事	中島 誠	○	理事	宮越 昭暢	○
理事	山中 勝	○	理事	吉田 広人	×

5. 出席監事数：2人 ○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	五藤 幸晴	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 7月1日（月）：日本学術会議地球惑星科学委員会IUGS分科会IAH小委員会（第26期・第1回） 出席
- ・ 7月8日（月）：日本学術会議地球惑星科学委員会次世代育成分科会（第26期・第3回）（学科長・専攻長会議合同） 出席

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 蛭原 雅之

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2024年度 第4回理事会 議事次第
- ・ 資料 2 : 2024年度 第3回理事会 議事録
- ・ 資料 a (3種) : 審議資料
- ・ 資料 b (15種) : 協議資料

- ・ 資料 c (16種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：入会の承認（総務委員会：資料a審議_13(総)-1)

- ・ 正会員7名と準会員2名について、入会を承認した。

第2号議案：投稿規程・執筆要綱の改定について（総務委員会：資料a審議_13(総)-2a,2b)

- ・ 投稿規程・執筆要綱の改定案について説明があり、原案の通り承認された。

【協議事項】

①地域地下水情報データベースの更新について（2）（調査・研究委員会：資料b協議_07(調)

- ・ 年度内の更新を予定している地域地下水情報データベースについて、追加機能等に関する方針説明と意見照会があった。編集委員会で対応を予定しているJSTAGEでのデータ提供と歩調を合わせて進めることとした。

②若手地下水研究助成採択者のHP掲載について（YEPS委員会：資料b協議_10(YE)-1)

- ・ 若手地下水研究助成の採択状況を学会ホームページで公開する際の掲載内容について協議した。

③2024秋季講演会_託児サービスに関する会告案（YEPS委員会：資料b協議_10(YE)-2)

- ・ 秋季講演会で実施する保育支援の内容について説明があった。

④会費未納にともなう資格喪失処分について（会計委員会：資料b協議_11(会)

- ・ 次回理事会で資格喪失処分の審議対象となる3年滞納者が2名いることが報告され、2年滞納者も含めて、引き続き会費徴収への協力要請があった。

⑤上期監査（事業報告、中間決算）に関するお願い（会計委員会：資料b協議_11(会)

- ・ 10月初旬に予定する上期監査に向けて、各委員会の9月末時点の収支を、事務局になるべく早く報告するようにとの依頼があった。

⑥オンライン会員管理システムの選定について（総務委員会：資料b協議_13(総)-1a,1b,1c)

- ・ オンライン会員管理システムの業者選定について、総務・会計・事務局によるヒアリング結果の説明があり、候補を1社に絞って詳細を検討していくこととなった。

⑦個人情報の取り扱いについて（総務委員会：資料b協議_13(総)-2)

- ・ 各委員会における個人情報の取り扱い状況についてアンケート結果の報告および意見交換を行い、今後はGWSやクラウドストレージを活用し、委員個人のパソコン等に個人情報を保存する必要が極力なくなる方向で運用方法、規程を検討する方針を確認した。

⑧冠企業表彰について（総務委員会：資料b協議_13(総)-3a)

- ・ 特別会員を対象に実施している意向確認アンケートの状況報告があり、関心があるとした特別会員に協力依頼をしていくこと、また、特別会員以外にも協力の意向確認を行っていく方針を確認した。

⑨次期代議員選挙について（総務委員会：資料b協議_13(総)-4a,4b,4c,4d,4e)

- ・ 次期代議員選挙の開催年度であることから、選挙制度、スケジュール等、および選挙管理委員会の設置方針を確認した。

⑩IAH JAPANとの交流・連携について（総務委員会：資料b協議_13(総)-5)

- ・ 当学会が事務局機能を支援しているIAH JAPANとの交流・連携の今後の方向性について、意見交換を行った。

【報告事項】

企画委員会：(資料c報告_03(企))

- ・ 論文解説セミナー、流域・地下水調査法講習会等の実施、準備状況が報告された。
- ・ 石油技術協会とのワークショップ等について状況報告があった。

行事委員会：(資料c報告_04(行))

- ・ 2024年秋季講演会の準備状況、およびシンポジウム、見学会の開催予定等が報告された。
- ・ 2025年秋季講演会について、会場選定等の状況が報告された。

渉外委員会：(資料c報告_05(渉))

- ・ 「地下水のきほん」の開催日、テーマの検討状況について報告があった。

編集委員会：(資料c報告_06(編)-1,2,3,4)

- ・ 第66巻3号(2024年8月号)の出版報告、第66巻4号(2024年11月号)の出版スケジュールと印刷計画、および原稿処理状況が報告された。
- ・ 地下水学会誌におけるCCライセンスの導入についての会告案、および編集委員の新任・退任について報告があった。

調査・研究委員会：(資料c報告_07(調))

- ・ 「地下水学の最先端 (state of the art)および典型的(classic)学術・技術の調査取り纏め研究グループ」の活動状況について、「地下水の事典」の見本が9月の半ばに届く予定であり、秋季講演会で見本とチラシを置き、特別割引価格での購入を案内することが報告された。
- ・ 「現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループ」について、9月中に出版社(岡山大学出版会)に翻訳原稿を提出し、出版社側の査読終了後に原著出版版元と交渉予定であるとの報告があった。
- ・ 「国土数値情報と高度利活用調査・研究グループ」について、第2回会合を9月中旬～下旬に開催予定であり、メンバー各自の研究内容を紹介し、研究テーマを絞るとの報告があった。
- ・ 「令和6年能登半島地震に関する調査・研究グループ」について、15名の参加が決定し、8月1日にオンラインで開催した第1回会合において、研究の方向性およびテーマを設定したとの報告があった。
- ・ 「PFASによる地下水汚染への対応に関する調査・研究グループ」について、66巻3号の会告にて参加者の公募を開始し、秋季講演会前後を目途に第1回会合を開催予定であることが報告された。

広報・IT委員会：(資料c報告_09(広)-1,2,3)

- ・ 前回理事会以降の活動状況、直近2カ月の公式ウェブサイトおよび公式SNSアカウント、グループウェアの管理運用と情報発信の状況が報告された。

YEPS委員会：(資料c報告_10(YE)-1,2,3,4)

- ・ 「2024年度若手地下水研究助成」の採択状況、「2023年度若手地下水研究助成」の成果および奨励賞審査結果について報告された。
- ・ 2024年若手交流会開催案内の会告が示された。

会計委員会：(資料c報告_11(会)-1,2)

- ・ 8月28日現在の会員数、会費納入状況および収入・支出状況等が報告された。

表彰委員会

- ・ 2025年度の技術賞および地下水学術賞を公募中であるとの案内があった。

総務委員会：(資料c報告_13(総)-1,2)

- ・ 後援共催等の対応状況が報告された。
- ・ 次回以降の理事会は2024年10月26日（土）、12月21日（土）、および2025年2月15日（土）を予定する。

以上をもって議事を終了したので、議長は17時00分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2024年9月27日

公益社団法人日本地下水学会 理事会